

松山大学法学部学術講演会

演題：絶対主義と戦争

講師：鈴木 直志 先生（中央大学文学部・教授）

講演概要

古来、軍事上の戦術の変化と統治体制のあり方には密接な相互関係がみられる。軍事史の専門家である鈴木直志先生をお迎えし、近世ヨーロッパにおける軍事上の戦術の変化と集権的統治体制成立の相互関係について、考えてみたい。ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・パレスチナ紛争といった、大きな世界史的転換に直面している我々にとり、軍事史の観点から長期的なタイムスパンで歴史を振り返ることは、大きな今日的意義を持つだろう。学生や教職員はもちろんのこと、広く一般市民にも参加を呼びかけたい。

コーディネーター

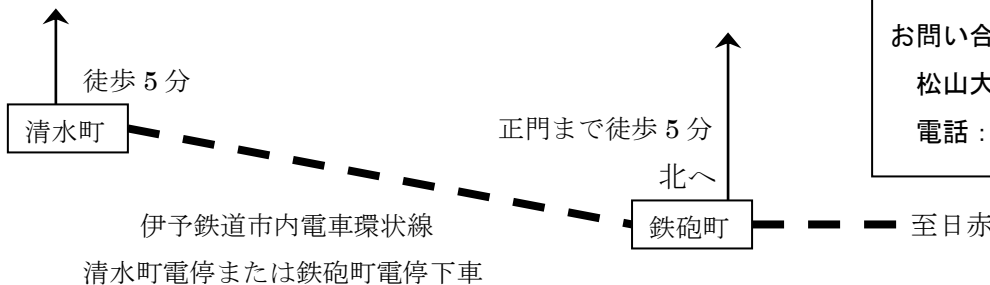
松山大学法学部教授 遠藤 泰弘

日時：2023年 12月 26日(火)

18:00～19:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 8号館 821番教室



講師：鈴木 直志 先生の略歴

1967年生まれ

中央大学文学部史学科卒業、同文学研究科西洋史学専攻博士後期課程満期退学、桐蔭横浜大学法学部専任講師・准教授・教授を経て中央大学文学部教授 著書—『広義の軍事史と近世ドイツ』（彩流社）、『ヨーロッパの傭兵』（山川出版社）他

主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）